

c 2024/6/23(日)9:50-12:50

「リフィル処方箋応需の薬局薬剤師の具体的方法」

「慢性便秘症について—画像で見る病態とその対策—」

講座情報

「リフィル処方箋応需の薬局薬剤師の具体的方法」

今井 博久

今後はわが国でもリフィル処方箋応需が増加し、薬局ではかなりの処方箋数の取り扱いになるだろう。日本型リフィル制度は『対人業務』を有する制度であり、そのために十分なトレーニングが必要不可欠である。ステップを踏んで実力を身に付けていくプロセスが期待される。診療報酬上で評価が行われることが示唆され、またリフィル制度の性格から応需が始まれば他の薬局へ流れることが無くなり、患者の囲い込みが進み、薬局の収益を左右する存在になる。患者に信頼され安全安心の薬局薬剤師になるために適切なトレーニングを早期に取り組むべきだろう。本講義では、リフィル処方箋応需に関する具体的な応需方法や技術の習得などについて説明する。

《学習到達目標》

- ・リフィル処方箋応需で患者の薬物治療について評価シートを適切に使用する知識と技術を修得する。
- ・リフィル処方箋応需頻度の多い疾病の病態生理と副作用を理解する。
- ・リフィル処方箋応需後に医師が必要とする情報をフォローアップ報告書に簡にして要を得た内容を書けるようになる。

「慢性便秘症について 画像で見る病態とその対策」

水上 健

慢性便秘症は人口の15%程度が悩まされ、特に成人女性に多い疾患です。2017年に慢性便秘症診療ガイドラインが発刊され、エビデンスに基づいた治療がされるようになってきました。ただ、「どうして私は便秘なのか?」「どうやって対処するのが正しいのか?」ということで悩まれる方は多いと思います。演者は大腸鏡検査法「浸水法」の開発で、検査が大変な人に便秘患者さんが多いこと、腸の形の異常である「ねじれ腸」「落下腸」が検査を難しくするとともに便秘の原因であること、さらにはストレスで起きる腸管痙攣を内視鏡で観察できることを発見しました。画像から見た便秘の原因と対策をTVで発表した「マッサージ」を交えて解説します。

《学習到達目標》

便秘の原因について理解し、対処方法について習得する

講演者情報

リフィル処方箋応需の薬局薬剤師の具体的方法

今井 博久

帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 教授

プロフィール

<略歴>

旭川医科大学医学部卒、北海道大学大学院修了(医学博士)。米国エモリー大学研究所リサーチフェロー、国内の大学助手、講師、助教授を経て、2005 年厚生労働省国立保健医療科学院の疫学部長に就任。生活習慣病予防を中心に薬剤疫学、医療政策などの研究に従事。早期定年退官後、東京大学大学院を経て2022 年度から帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授に就任。

<所属学会・委員等>

日本フォーミュラ学会(理事長)

日本内科学会

日本公衆衛生学会

<受賞歴等>

北海道医学会賞受賞(札幌) 最優秀国際フェロー賞受賞(米国アトランタ)

主要著書・参考文献

最新刊「高齢者への薬剤処方 第2版」(医学書院)

参考サイト

J SPAD (<https://j-spada.com/>)

慢性便秘症について 画像で見る病態とその対策

水上 健

国立病院機構久里浜医療センター 内視鏡部長、慶應義塾大学医学部 客員講師

プロフィール

<略歴>

1990 年 慶應義塾大学医学部卒業・内科学教室入局

1994 年 慶應義塾大学消化器内科入局

1996 年 水戸赤十字病院内科 第一内科副部長

2007 年 横浜市立市民病院 内視鏡センター長

2011 年 国立病院機構久里浜医療センター 内視鏡部長(現職)

2011 年 Heidelberg University Salem Medical Center, Visiting Professor

2018 年 慶應義塾大学消化器内科便秘外来開設(非常勤)

日本消化器病学会慢性便秘症診療ガイドライン 2017 作成委員

<認定資格>

日本内科学会認定総合専門医

日本消化器病学会専門医

日本大腸検査学会評議員

日本消化器内視鏡学会指導医、専門医、学術評議委員

ESPGHAN(欧州小児消化器病学会) 正会員

<所属学会・委員等>

日本大腸検査学会 評議員

日本消化器内視鏡学会 学術評議員

<受賞歴等>

三四会奨励賞受賞 第1回並木賞(日本神経消化器病学会最優秀賞)受賞

主要著書・参考文献

慢性便秘症を治す本 法研

IBSを治す本 法研

ねじれ腸・落下腸 主婦の友社

参考サイト

<https://kurihama.hosp.go.jp/hospital/section/ibs.html>